

平成 30 年 3 月 19 日  
国立情報学研究所  
学術コンテンツ課

## 平成 30 年度 SPARC Japan 活動計画（案）

第 5 期基本方針のもと、平成 30 年度は次のプロジェクトを実施する。

### （1）SPARC Japan セミナー **2. ①②への対応**

アドボカシー活動として、SPARC Japan セミナーを数回実施する。平成 29 年度同様に企画ワーキングを設置し、年間テーマを策定の上、年間テーマに沿って、各回の企画・実施を行う。また、ドキュメントを作成してウェブサイトで公開する。

### （2）海外動向調査 **2. ③④への対応**

平成 30 年度に予定されている下記の国際会議に参加し、情報収集を行う。

- ・ RDA (Research Data Alliance) 12th Plenary Meeting 2018  
11 月 5-8 日, ハボローネ (ボツワナ)
- ・ COAR (Confederation of Open Access Repositories) Annual Meeting 2018  
5 月 14-17 日, ハンブルグ
- ・ OR2018 9 月 12-14 日, ブリュッセル
- ・ RDA (Research Data Alliance) 13th Plenary Meeting 秋
- ・ PIDapalooza
- ・ IDF Strategic Meeting

### （3）arXiv.org コンソーシアム事務局 **2. ①②への対応**

arXiv.org のコンソーシアム事務局として、arXiv.org の事務局とコンソーシアム間の連絡・意見調整を行う。

### （4）SCOAP<sup>3</sup> 支援 **2. ①②への対応**

SCOAP<sup>3</sup> フェーズ 2 (2017-2019 年) に係る日本のとりまとめを行う。

### （5）CLOCKSS 支援 **2. ①②への対応**

CLOCKSS の 2018 年会員制モデルへの参加の意向および連絡先を確認し、CLOCKSS の事務局と日本の参加機関との連絡調整を継続する。

(6) 論文公表実態調査 2.④への対応

平成 29 年度に引き続き、JUSTICE と連携し、日本の論文公表実態調査のフォローアップを行う。

(7) SPARC Japan 年報の発行 2.②④への対応

SPARC Japan に関するニュースはウェブで広報する。また活動記録のために報告書を発行する。各回のセミナーの記録および基礎情報のまとめ等を整理し、年 1 回の形で発行する。

(8) 高エネルギー物理学分野の情報サービスに係る国際連携協定への対応 2.③への対

応

欧州原子核研究機構 (CERN)、高エネルギー加速器研究機構 (KEK) 及び国立情報学研究所 (NII) が締結する高エネルギー物理学分野に関する国際連携協定に基づき、CERN が提供する高エネルギー物理学分野の文献情報サービスである INSPIRE データベースを中心にデータキュレーションの実務に関する共同事業を行う。